

Koyomi

2020 | 令和2年

vol.40 12/20 発行

CONTENTS

Smile Pick Up!	1
令和2年度企画研修	2
NEXTAGE	3
施設長リレーコラム	4

こちらの気持ち
伝わってしまうから
明るく笑顔で
接していきたい

Smile Pick Up!

佐藤 千明 さん

所属／特別養護老人ホームはるか

職種／生活相談員

経歴／長岡市生まれ。大学卒業後、
(福)虹のまち福祉会入職

趣味／海外ドラマ鑑賞



●福祉に興味を 持ったきっかけ

高校は普通科というよりは家政科
みたいな感じの学科に通っていまし
た。福祉や服飾、調理を総合的に学
ぶ中で、福祉に興味を持ちました。
大学も福祉系のある学校に進み、在
学中に祖父を自宅で看取りました。
亡くなる時は病院とかを想像してい
たけど、自宅でも看れるんだなとそ
の時、一番思いました。

●新型コロナウイルスに よって変わったことは

利用者さんご家族が面会ででき
ず、私たちも今まではお会いしてコミ
ュケーションをとっていたけれど、電
話やWebに変わったことが一番大
きいと思います。そのような形でも、
利用者さんご家族は、声や顔を見
るだけで安心されるようです。

●今後の目標

入居される方に特養に入って良か
ったと思われるように関わっていき
たいというのが大前提にあり、利用
者さんの思いや気持ち、ご家族様の
意向をしっかり受け止めて、そ
の中で支援を提供していきたい
です。相談職だけでなく、
現場の職員さんや看護さ
ん、栄養士さんや色んな
職種の方が関わってい
るので、その方々の意見
もしっかり受けとめて
チームで取り組んでいけ
たらいいと思います。

令和2年度企画研修

今年度、新型コロナウイルスの影響により上半期は研修会がほぼ中止となりましたが、10月16日～22日まで本会初めてのWeb配信による研修（第1回研修会）を開催いたしました。第1回研修会の感想と、第2回研修会の動画撮影の様子をご紹介します。



第1回研修会

テーマ 責任的立場にある職員のコーチングスキル

受講期間 【1回目】 10月16日～22日
【2回目】 11月4日～10日

配信方法 Web (YouTube)

受講施設 42施設

受講者数 140名

参加者の声

糸魚川なので移動時間がかからなくて良かったです。ただWeb視聴は一方通行で、グループワークのように話し合いの中で深めることができないのが残念でした。講師からのレスポンスにも時差がなくなるともっと習得しやすくなると思います。

(特別養護老人ホームふくがくちの里)

視聴期間が1週間あり、密にならずに何度も講義を見ることができた。今年度は外部研修の機会がなく業務のマンネリ化が見受けられていたが、講義内容も明快で実務に活かしやすく、指導的立場の職員のモチベーションアップに繋がったように思う。コーチングスキルの聴く・承認・質問を日々の会話でも意識していきたい。

(特別養護老人ホームこぐち苑)

WEB方式の研修は、施設の都合の良い日時に視聴できること、また、同じ目的を持つ職員が一堂に会して受講でき、研修内容の実践も足並みをそろえて取り組めるというメリットがありました。内容も簡潔明瞭で、明日から取り組める事柄も多く、大変参考になる研修でした。

(特別養護老人ホームしうんじ)

研修参加者の皆さまから感想をいただきました。受講いただきありがとうございました。

第2回研修会

テーマ 苦情解決など困難事例等の解決方法

受講期間 11月13日～19日

配信方法 Web (YouTube)

受講施設 88施設

受講者数 335名

動画撮影の様子です。



講師／弁護士 磯部 亘氏(本会監事)



担当理事・研修委員



副会長・研修委員長／山田淳子

次世代を担う！

21世紀委員会！

2020年は新型コロナウイルス感染症対策や対応に追われた一年でしたね。

早く新型コロナウイルスが終息するのを心から祈るばかりです。

大変な苦勞をなさっていると存じますが、各ブロックの21世紀委員の皆さんから仕事の中での変化や日々気を付けていることを教えていただきました。

第1 ブロック



特別養護老人ホーム
東蒲の里
介護支援専門員
おおえ まこと
大江 慎さん

東蒲の里における現状の 取り組みについて

新型コロナウイルス感染症対策のため、面会を制限させていただいてから9か月が経過しました。

その間、LINEアプリや町内のテレビ電話による面会を行っております。特に県外や海外にお住まいのご家族の方からLINE電話による面会を多くご利用いただいております。その他に、担当の介護職員から定期的にご利用者の近況を手紙に書き、写真を添えて送付しております。

今後もテレビ電話による面会を主に、様々な対応の検討が必要と考えております。

第2 ブロック



特別養護老人ホーム
はもちの里
庶務課長
うめざわ たけし
梅澤 健さん

オンライン面会を はじめました

現在も各地で感染拡大している新型コロナウイルス感染症ですが、当施設でも基本的な部分を中心に感染予防を行っています。また面会についてはオンライン面会の導入を始めました。オンライン面会については、ご利用された皆さんに大変喜んでいただいております。感染対策としての導入ではありましたが、なかなか面会に来ることが出来ない遠方の方と画面を通じて数十年ぶりに面会されている様子を傍でみていると私たちも心が温かくなります。

第3 ブロック



特別養護老人ホーム
岡南の郷
副施設長
うちやま しんご
内山 真吾さん

コロナ禍での 施設の取り組み

新型コロナウイルス禍における当施設での取り組みをご紹介します。

当施設では業務のICT化を推進する中で、内部研修を原則動画視聴研修へ移行し、勤務時間内に受講することとしました。当初の目的は研修企画と勤務時間外受講の負担を軽減することでしたが、結果として集合研修による3密を回避する配慮へとつながり、コロナ対策としても効果がありました。

動画視聴型研修受講の重要性を体感し、老施協でもWeb研修が始まりましたので、施設全体として積極的に受講したいと思っています。

第4 ブロック



地域密着型
特別養護老人ホーム
七川荘やすらぎ 介護主任
えぐち たかゆき
江口 隆之さん

職員が自覚を持って 対応

当福祉会の今現在の対応としては、面会の予約制、入居スペース以外での面会は許可されていて入居者様の精神的安定に配慮しての面会となっています。また、職員としては出勤前の検温測定、県外出時の事前届けなどの対応をしています。職員自身または他の職員の体調にも敏感に気を配るようになり職員一人一人が自覚を持って仕事に就いていると思います。幸い当地域での感染がない中で感染しない、施設に持ち込まないように感染対策をしています。

第5 ブロック



特別養護老人ホーム
サンクスレハの森
施設長
つかだ みちこ
塚田 光知子さん

今までの考え方に プラスα

新型コロナウイルス感染対策として、外部からのウイルスを「持ち込まない」「持ち出さない」「拡げない」ことを凡事徹底しています。コロナ禍で変わったことは、面会方法に「窓越し面会」「オンライン面会」が増えたこと、直接会えないことが多いので動画を「QRコード」にして、生活の様子をお伝えする方法が増えたこと、検温方法に、「サーマルカメラ」が増えたこと、研修方法に「オンライン研修」が増えたこと、法人内会議方法に「オンライン会議」が増えたこと。今までの考え方に「プラスα」して安全な施設運営を心掛けています。

チーム活動で 課題に取り組む



特別養護老人ホームみなかみの里
園長
ももい れいこ
桃井 麗子さん

平成元年に開設し、設備も建物も古くなっ
たみなかみの里は、事業を支えてくれる現場
職員らが、一番の“売り”なのかもしれません。
「もうすぐ、私も入所するわよー」というおば
ちゃん職員から、学校を出たばかりの若い職員
など、正直、個性が豊かすぎて羽目を外してしまう
こともあります。心理状態や身体状況を総合し最終
的には“ご利用者のために何が最善なんだろう”と考えるところ
に、介護現場で日々奮闘している職員たちの人の好さと究
極の専門性があるのでしょう。

そんなみなかみの里の職員が取り組んでいることにチーム
活動があります。多職種で構成したメンバーが意見を出し合
い、施設での課題を改善していきましょうというものです。

例えば、褥瘡を施設では作らないぞ!という「褥瘡改善チ
ーム」、むやみな身体拘束をしないぞ!という「権利擁護チ
ーム」、口腔機能を維持し、長くおいしく食事を食べ、入院原因第1位
の肺炎の予防をする「嚥下評価チーム」。

これらの活動は、多職種で意識統一が難しい、職員が集ま
れない、全体へ上手く意義を周知できないなどの悩みを抱えつつ
も3年目を迎え、成果を徐々に感じています。拘束を外せたとき、
褥瘡がなくなった時など、「やったー」と大喜びしてしまいます。

さて、今年度は、新たに「移乗チーム」が立ち上がりました。
月に1度の頻度でありながら、スライドボードなどの用具を整
備し、ご利用者の能力を見ながらどのような移乗方法が良い
かを検討・実践するなど、活発に活動してくれています。すで
に、ボードなどの道具の活用が定着しつつあり、ご利用者から
も「このほうがいいね」と喜ばれることもあります。今後、
持ち上げないケアでご利用者の身体機能の維持を図
りつつ、ご利用者のみならず職員にも安全な移乗
方法がどれだけ浸透できるだろうか、と勝手に
期待し楽しみにしているところです。



移乗のチーム、
今回の議題は
技術的向上



安全な
移乗について
真剣に研修

歯科衛生士の
導入で口臭も
肺炎も激減



みなかみの里の
スマイルクイン

特別養護老人ホームみなかみの里

施設 概要

事業所所在地 ● 妙高市上新保549
運営事業者 ● 社会福祉法人新井頭南福祉会
事業所の種類 ● 特別養護老人ホーム/100名
連絡先 ● TEL/0255-73-7733

E-Mail/minakaminosato@araikeinanfukushikai.or.jp

